

2022年2月7日

各 位

株式会社リアルワールド（コード番号：3691）

代表取締役社長 菊池 誠晃

「LINE Pay かんたん送金サービス」の導入事例として取材を受けました。**贈るギフトは企業が自由に選択可能、“デジタルギフト®”**

～デジタルギフト®の選択先にあるLINE Pay より取材を受け、
導入背景などについてコーポレートサイトへ掲載いただきました～

株式会社リアルワールド（代表取締役社長：菊池 誠晃、本社：東京都渋谷区、東証マザーズ：証券コード 3691 以下「当社」）および、グループ会社である株式会社 REAL FINTECH（代表取締役社長：菊池 誠晃、本社：東京都渋谷区）が運営する「デジタルギフト®」にて、LINE Pay 株式会社（代表取締役社長：前田 貴司、本社：東京都品川区）の導入事例として、取材いただきました。

■取材に至った背景

当社が運営しているデジタルギフト®において重要な指標であるリアルタイムで活用ができる点、様々な利用用途がある点などを踏まえ、LINE Pay 導入に至った背景、親和性について、その後の利用状況などについて深く掘り下げていただき、双方のサービスの利便性を、より一層伝えていただくべく、この度取材していただくことになりました。

■デジタルギフト®導入事例、取材内容について（記事内容一部抜粋）

<LINE Pay かんたん送金サービスの導入背景、期待>

DXの推進、世の中のデジタル化とともに、「リアルタイムに受け取ってすぐに使いたい」

「どこでも使えるギフトが良い」というようにデジタルギフト®に対する企業様やお客様のニーズが変わりつつあった中、リアルタイムな交換を実現でき、利用用途も豊富であることから、これらのニーズを満たせるのではないかと考え導入いたしました。また、LINE Pay はユーザー数が多く、加盟店でのお買い物はもちろん、友だち同士で手軽に送金や割り勘ができる、とても便利なサービスだと思いますし、LINE 公式アカウント上でキャンペーンを展開する企業様も増えていることから、親和性の高さも期待できました。

これらを理由に、「デジタルギフト®」の交換先として「LINE Pay かんたん送金サービス」を導入することによって、贈り手である企業様と受け取り手であるお客様の双方にとっての利便性向上を実現できるのではないかと考えておりました。

<LINE Pay かんたん送金サービスの利用用途>

お客様や従業員に対するインセンティブや謝礼として活用できるデジタルギフト®を、企業様向けに提供しております。その中でLINE Pay は、お客様や従業員が受け取ったデジタルギフト®の交換先として活用しております。

<LINE Pay かんたん送金サービスを導入した感想>

リアルタイムに交換でき、利用用途も豊富なLINE Payを受取先として拡充したことにより、デジタルギフト®を受け取ったお客様の利便性・満足度向上につながりました。デジタルギフト®は、使い勝手をいかに良くできるか、すぐに使える状態にできるかを重視し、サービスを展開しています。その中で、LINE Payが受取先として加わり、リアルタイム利用を実現できたことによって、サービス競争力の強化につながりました。

支払う

LINE Pay +

- PayPay加盟店 (ユーザーズキャン方式)
- Google Pay
- Apple Pay
- iD加盟店

残高を送る

友だちに送る 銀行振込



出金する

セブン銀行ATM

※LINEの友だちへの送金、出金は本人確認が完了したLINE Moneyユーザーに限ります

■LINE Pay 導入事例取材記事はこちら

- ・ 事例記事

<https://pay.line.me/portal/jp/business/support/case/387>

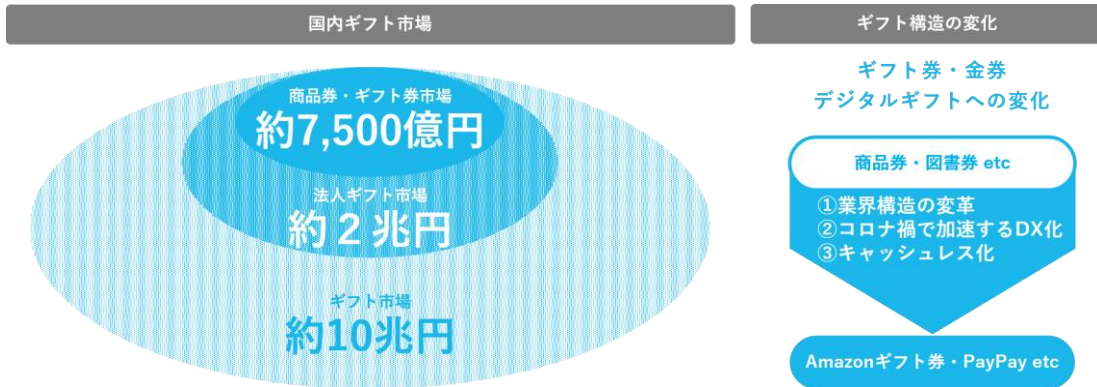
- ・ YouTube 動画

https://youtu.be/uR6McP_nch0

■デジタルギフト®の対面市場について

日本国内のギフト市場は約 10 兆円と言われており、当社はその中でも、商品券・ギフト券などの金券市場がターゲット市場にあると捉え、金券市場からギフト市場全体を掌握していくこととしてサービスの開発・改善を推進しております。

2022 年度 9 月期においては、金券市場を抑えるために、「1.手数料無料化」、「2.受取先拡充」、「3.認知度向上」を戦略上の重要なポイントとしてあげています。



1. ギフト発行手数料無料化とマーケティングツールサブスクリプションへの収益転換

マーケティングツールは、以下3点の機能の活用が可能となります。

- ・デザインギフト：目的に応じたデザインの利用、PR動画、誘導バナーの設置が可能
- ・自社商品ギフト：自社商品・自社サービスをデジタルギフト化・チケット化
- ・抽選機能（インスタントウィン）：SNSと連動したキャンペーンを即時実施可能

※サブスクリプション契約をいただいた企業様は、ギフト発行手数料が無料となります。

2. 交換先の拡充

従来のギフト券はもちろん、キャッシュレス化・コロナ禍によって著しく進むDX化に伴う未来のギフト・マネーサービスにも随時対応、約7500億円の金券市場を網羅していきます。

<ギフト受取先>

ギフト券



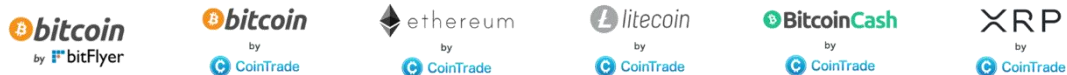
送金・ペイメントサービス



企業サービス



暗号資産



※Amazon, Amazon.co.jp およびそれらのロゴは Amazon.com, Inc. またはその関連会社の商標です ※Google Play は Google LLC の商標です ※Apple Gift Card は米国およびその他の国々で登録されている Apple Inc. の商標です

3. 認知度向上

取引社数 1000 社・粗利倍増を目指す中、一度聞くと覚えられ、また何かわかるサービス名「デジタルギフト®」へ変更、広告や営業活動の効率性を最大限に活かしていきます。

■デジタルギフト®について

デジタルギフト®はギフトを受け取ったユーザーの利便性を最大化するだけでなく、ギフトを贈る企業様にとっても最短・簡単に利用できるサービスとなっています。申請後、最短3営業日で利用できるため、急なキャンペーンを実施したい際にも、素早く簡単に活用可能となります。また、決められたギフトを受け取る従来のデジタルギフト・サービスとは異なり、交換先としてPayPay、QUOカード Pay など多くのキャッシュレス・サービスを保有しているため、受け取ったギフトは身近な店舗で利用することが可能となり、ユーザーにとって利便性の高いデジタルギフト・サービスとなっております。

<利用イメージ(ユーザー)>



<利用例>

アンケート回答、資料請求、お見積りへの謝礼、社内イベントのインセンティブ、etc.

■REAL FINTECH 運営サービスについて

・ RealPay : <https://realpay.jp/>

コロナ禍によって生まれた投げ銭メディアなどの新しい稼ぎ方に対応した報酬提供インフラ

・ デジタルギフト® : <https://digital-gift.jp/>

紙券として発行していたギフト券をデジタル化、手軽に利用できるデジタルギフト・サービス

■株式会社リアルワールド 会社概要

社名	株式会社リアルワールド
代表取締役社長	菊池 誠晃
所在地	〒151-0062 東京都渋谷区元代々木町 30-13
設立年月日	2005年7月29日
事業内容	GAFAM メディア事業・フィンテック事業
コーポレートサイト	https://realworld.co.jp/



■株式会社 REAL FINTECH 会社概要

社名	株式会社 REAL FINTECH
代表取締役社長	菊池 誠晃
所在地	〒151-0062 東京都渋谷区元代々木町 30-13
設立年月日	2016年4月20日
事業内容	GAFA メディア事業・フィンテック事業

以 上

【サービスに関するお問い合わせ先】

株式会社リアルワールド 担当 古瀬

TEL:03-5465-0695 Email:info@realworld.jp

【当りリリースに関するお問い合わせ先】

株式会社リアルワールド PR 担当 佐藤

TEL:03-5465-0690 Email:pr@realworld.jp